

命の水を大切に！

新年度前にきっと皆さんお忙しくされていることと思います。お元気ですか？

先日の雨は本当に恵みの雨でしたね。

どんなに雨が少ない時も、これまで神奈川県は大丈夫と思うことが多かったのですが、神奈川県民にとっての命の泉「宮ヶ瀬ダム」の貯水量が50%を切ったと聞いた時は、ちょっと心配になってしまいました。

以前、こちらの環境コラムで秦野に豊かなお水が湧いているお話をしましたが、今日は、即実行をお願いするためにも、私が日々やっている節水のお勧め習慣を箇条書きにしてお伝えします。

1 主食のお米を玄米に！

玄米は洗うのも簡単で、水も白濁しません。その上、白米より栄養価が高い。いいことづくめ。しかも白米のとぎ汁500mlを魚の住める水に戻すにはバスタブ4杯分の水が必要だそう！

2 白米の場合は、研ぎ水を庭やプランターの植木にあげましょう。

3 ソバを茹でた後のお湯は、蕎麦湯に。

血液サラサラ効果、美肌効果あるそう。味付けして簡単スープも作れます。また麺を茹でた水は食器洗いに使うこともできますが、私はやはり浄水することを思うと茹で汁が冷めるのを待つ、植木にあげます。

4 お風呂の水を洗濯などに再利用は勿論！洗剤は「すすぎ洗い1度でOK」というのを選ぶ。
雨の少ない時は、お風呂の水も植木にあげます。

5 ヘアカラーは回数を減らす。

6 野菜などを洗った水は貯めて食器の予洗いに利用。

7 無農薬野菜を買うことを心がける。

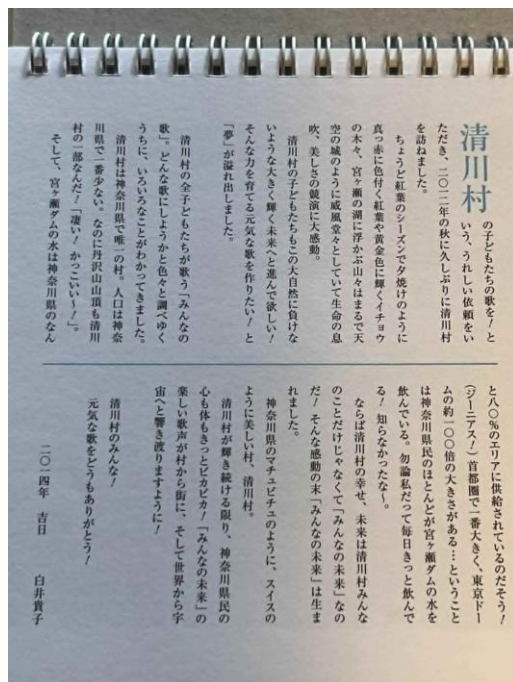
野菜を洗う水も減り、根っこなどもスープに利用できます。生ごみ減量にも繋がります。

8 久しぶりの恵みの雨はバケツに貯め、外回りの雑巾洗いなどに利用する。

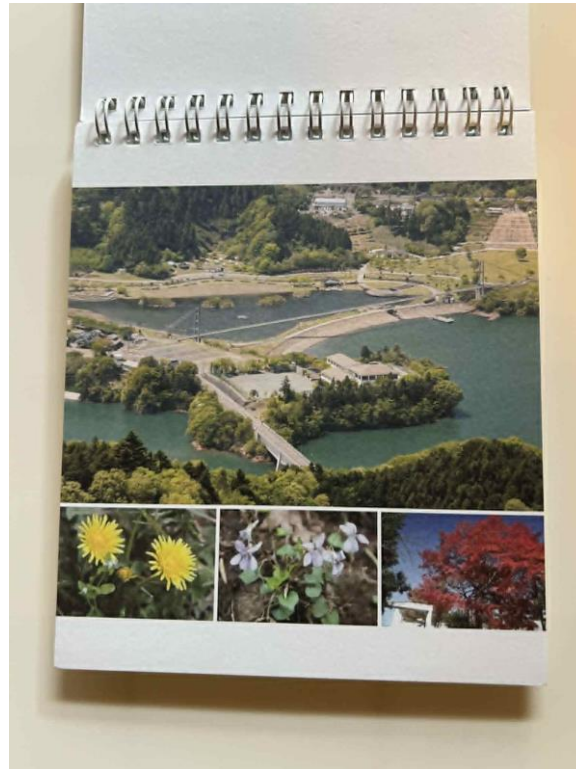
まだまだありそうですが、今回は、この辺で！笑。

私は、神奈川県「かながわ環境大使」のお役目とともに、2027年横浜市で開催される「GREEN×EXPO 2027※」の応援団長の役目もいただき、頑張っています！

宮ヶ瀬ダムは、神奈川県唯一の村である「清川村」、「相模原市」、「愛川町」にまたがってありますが、私は以前「みんなの未来」という清川村全土の子どもたちの歌をつくりました。その詩の中に「清く流れる小川のせせらぎ、魚がジャンプしたよ！」というフレーズがありますが、永遠にそんな風景が見られるように、みんなでお水を大切に！節水を頑張って、ドキドキ春を迎えましょう！



2014年、清川村の子どもたち全員で歌った「みんなの未来」



イラストレーターの安斎肇さんが、とっても素敵なスケッチブックの CD ジャケットを作ってくれました。

お水が少なくなっていること、今、一番、清川村の子どもたちが「水を大切にしなくちゃ！」と感じていることと思います。



宮ヶ瀬ダム(令和 8 年 2 月 19 日現在、貯水率 36%)

提供：国土交通省相模川水系広域ダム管理事務所